

平成21年度事業報告書

特定非営利活動法人 NPO福祉用具ネット

1 事業の成果

(1) 地域と行政・大学・NPO と連携しながら福智町の介護予防に関する取り組みについて

今年度も8月から9月に集中的に福智町高齢者の体力測定(4年目 306名)を実施しました。これまで延べ1,191名の体力測定を実施したことになります。

この調査は西九州大学村田伸教授を中心に、福智町・福智町社会福祉協議会・西九州大学・長崎大学などの研究者等とともに、NPO福祉用具ネットも参加し研究チームとして継続的に取り組んでいるものです。この調査を通して確認できたことは、参加高齢者での健康意識の高まりです。昨年度に比べ、エクササイズを習慣的に行っている高齢者が増加し、さらにそのエクササイズを準備している人が高齢者の7割弱に及んでいるのを考えると、高齢者の約8割が健康の維持増進を希望しているようです。わずかですが、昨年と比べると運動力の向上も認められています。

来年度がこの取り組みの最終年度となります。

(2) 川崎町地域福祉セミナーの開催支援

川崎町との共催事業としてセミナーの企画と運営の協力を行ない、結果は以下の通りです。

①9月19日川崎町地域福祉セミナー共催「山口夢のみずうみ村」施設見学 19人参加

②10月10日川崎町地域福祉セミナー共催「健康づくり・からだづくり」68人参加

講師 西九州大学教授 村田伸氏

③11月14日川崎町地域福祉セミナー共催「ほけても大丈夫 地域でささえる取り組み」79人参加

講師 宅老所よりあい 代表下村美恵子氏

④12月12日川崎町地域福祉セミナー共催「如何に生きるか ～障がいに負けないで～」55人参加

講師 佐賀大学医学部准教授 松尾清美氏

アンケート結果からも良い評価をたくさんいただきました。今回のことがきっかけになり、地域住民とともに、認知症対策、さらに健康づくりなどの積極的活動が現れることを期待しています。

(3) 福祉用具や住宅改修、介護相談並びに開発に関する相談について

NPO福祉用具ネットとして受ける相談の中で最も多い相談は、開発に関する内容です。今年度の開発相談を6企業より受けました。産学官の開発チームの一員としても支援をしています。

福祉用具に関する相談について、最近の傾向としては開発に携わった製品の使い方に関することが増加中です。

床ずれ防止用具P・Waveや洗髪シャワー、パシーマの専用シーツは共同開発品という特徴のために、問合せも比較的多くありました。自動採尿システム「ヒューマニー」は、我々が開発に協力した製品ですが九州地区で発売され始めて、会員からの使い方に関する相談が多くなりました。

排泄の問題は大変な条件にあってもあきらめている悲しい現状も多くあります。ヒューマニーは吸引付きのオムツであり、世界で初めての製品だといわれています。しかし、パッド装着は体型や身体機能、性別な

ど個々の質問に応じて回答しなければなりません。排泄問題で困っている介護者や利用者を助けるとともに、正しい使い方ができるよう支援することが、販路開拓への協力にもなります。臨床現場での実用試験の際の経験を活かしてサポートをしているところです。

その他、病気の状態や身体機能に応じた福祉用具の選定や使い方、新しい福祉用具情報の相談についても、随時に対応しています。年間50件程度の相談に応じています。特にNPOの会員からの相談が中心です。

NPO法人の仲間とのネットワークを活用することがとても有効です。すばやく、豊富な製品情報を得られやすいことが大きな励みになっています。

(4) 共同開発品の販路拡大支援及び開発品の検証に関する受託事業について

共同開発に携わった製品の販路開拓に向けた協力のために、本 NPO 法人のホームページや情報誌を積極的に活用して、会員のネットワークを通じて多くの皆様に情報を提供し、販路を拓くための活動も実施しました。

また、新製品の検証や臨床試験なども受託し、介護施設や病院や福岡県工業技術センターを活用してさまざまな試験を行ないました。

販路拡大への協力は、3社の3製品、洗髪シャワー、P・Wave・ヒューマニーなどに関するものであり、新製品についての検証は2社からの依頼分、合計13件の検証試験を行ないました。

(5) 福祉用具・住環境整備、ケアプラン作成や介護の質の向上のための研修会や研究会の開催について

①研修会の開催内容は以下の通り。

平成21年4月19日 腰痛対策講座 講師 市川冽先生

6月21日 出前講座 in久留米 腰痛対策講座 講師 山形茂生先生

7月23日 出前講座 事業所内研修『身体の清潔ケアについて』 講師 大山美智江

平成21年8月23日 認知症ケア 講師 村瀬孝生先生

1月～2月 出前講座 事業所内研修「排泄ケア」 講師 大山美智江

11月27日から29日まで(3日間) 西日本国際福祉機器展にてブースセミナー開催 各1日4回実施
(福祉用具活用セミナー・介護セミナーは農協共済別府リハビリテーションセンターと共催)

②今年度を実施した福祉用具研究会の参加者および内容は以下の通り。

今年度は排泄ケアを中心に開催しました。内容、参加者数は以下の通り。

5月29日(18時～20時) 24人参加 内容 「開発品 自動採尿システムヒューマニーの紹介」

6月19日(18時～20時) 22人参加 内容 「施設におけるオムツ利用の実態」

7月15日(18時～20時) 24人参加 内容

「デイサービスセンターでの介護の実際、特に排泄ケアを中心に」

8月19日(18時～20時) 24人参加 内容 「オムツメーカー[リブドゥ]様の製品紹介」

9月15日(18時～20時) 16人参加 内容 「事例検討3事例」

10月16日(18時～20時) 16人参加 内容 「アサーションとカウンセリングの基本」

「介護の現場でのコミュニケーションの取り方について」

11月17日 16人参加 内容 「東京国際福祉機器展の動向についての報告」と「事例紹介1例」

平成10年から5月からスタートして11年目の福岡県立大学福祉用具研究会です。毎回、福岡市や北九州市、飯塚市や中津市、行橋市など遠くからも参加されています。

(6)住環境整備に関する啓発事業として福祉住環境コーディネーター (FJC) 協会からの受託事業について

今年度、先進的なバリアフリー化施設などの見学会を、計7回に亘り企画・実施しました。

実施した見学先は以下の通りです。遠く北海道や鹿児島からの参加者を含めて、約80名の皆様が参加されました。

4月 別府杉の井ホテル様

5月 北九州市 サンアクアトートー様

6月 中津市いずみの園様

7月 熊本機能病院様

9月 九州国立博物館様

12月 佐賀大学様

3月 総合せき損センター様

どこも、先進的な取り組みをされており、参加者から好評をいただいています。

私たちにとって、見聞を広げるとても良い機会になっています。

(7) バリアフリーについての相談について

バリアフリー介護住宅の開発事業として、平成21年度技術高度化支援事業を受託し、平成22年1月から近畿大学依田教授のご教示をいただいて、介護に適したバリアフリー住宅やコミュニティや防災・防犯に優れた環境エリアの構築に向けた指導を受けています。今後のバリアフリー住宅のあり方について検討を行いました。

(8) 情報誌やホームページを利用して情報発信は予定どおり継続することについて

情報誌「ささえ」は、執筆いただいている関係者の協力でこれまでに延べ30号(1月発行済まで)発行することができました。一回の発行部数 500 部／年 4 回発行。

ホームページの更新は随時実施して、情報誌「ささえ」や研修会情報、共同開発品に関する情報を公開してきました。

各事業別実績は以下の通りです。

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
①福祉のまちづくりに関する事業	福智町地域再生計画に関する事業 「介護予防」のための介入研究	8月から 9月まで	福智町	15名	福智町高齢者 306名	480,454
	地域福祉セミナー 3回および施設見学 1回の企画共催	9月から 12月	川崎町	10名	川崎町住民 221人	
②福祉用具及び住環境に関する相談事業	- 電話・面接による事例相談 - 福祉用具の情報提供 合計50件以上	随時	事務局	常勤 1名	介護サービス事業所 や施設関係者や要介護者とその家族など 若干名	534,362
	開発に関する相談 6社	随時	事務局 他	常勤 1名	関係の開発者若干名	
③福祉用具の活用及び住環境整備に関する啓発・研修事業	- 福祉用具に関する研修会 - 腰痛対策研修会 2回	4月 6月	田川市 久留米市	常勤含む 13名	介護・医療・福祉専門職 150名	812,185
	- 福祉用具の使い方セミナー「リフトの使い方」・「スライディングボードの使い方」3日間 - 床ずれ防止用具の選び方1回	11月 3日間	北九州市(西日本福祉機器展)	5名	介護医療福祉専門職 および要介護者と家族・学生200名	
	福祉住環境コーディネーター協会受託事業 見学会の企画 7回	7箇所 実施	別府市・熊本市・中津市・北九州市・佐賀市・太宰府市・飯	常勤 1名	介護・医療・福祉・建築関係者など福祉住環境コーディネーター 会員 82人参加	

			塚			
	■福祉用具研究会 7回シリーズ テーマ 排泄ケアを中心に	5月から 12月ま で7回 実施	福岡県 立大学 内	3名	介護・医療・福祉・建 築など関係者 延べ85名参加	
④福祉用具の 活用、供給及び 開発並びに住環 境整備に関する 調査研究事業	■共同開発品の販路 拡大支援3社	随時	全国	常勤 1名	開発者など企業関係 者多数	3,407,038
	■開発品に関わる受 託事業 13件	随時	全国	常勤 1名	開発者若干名	
	■福祉用具の供給 P・Waveなど5件	随時	長崎 佐賀 福岡	常勤 1名	要介護者や身体障害 者など若干名	
⑤ケアプラン「介 護サービス計 画」の作成を支 援する事業	電話相談 福祉用具や住宅改修 と関連する相談に含ま れる。	随時	事務局	常勤 1名	介護支援専門員や家 族など若干名	52,255
⑥介護の質を向 上させるための 調査・研修・啓 発事業	① 認知症の介護	8月	田川市	10名	医療・介護・福祉専門 職 153人	122,686
	出前講座 ①身体の清潔 ②排泄ケア	7月 2月	香春町 田川市	2名	医療・介護・福祉専門 職 30人	
	西日本展示会ブース セミナー ①高次脳機 能障害～症状とその 対応～×1回 脳卒中後の在宅生活 の工夫 ②「家庭でできるエク ササイズ」×2回 ③「家庭でできる摂食・ 嚥下訓練」×2回	11月	北九 州市	15名	医療・介護・福祉専門 職160人参加	

⑦安全な生活に向けたバリアフリーの調査と推進事業	バリアフリー介護住宅の開発事業 平成21年度技術高度化支援事業受託	1月から 2月	筑豊地域	3名	建築関係者 行政担当者 若干名	26,065
⑧情報誌及び出版物の発行に関する事業	■情報誌の定期的な発行及びホームページへの公開	年に4回	事務局	常勤 含む 5名	医療・介護・福祉専門 職等不特定多数	577,705
	■出版物の発行・販売 (移乗マニュアルの販売)	随時	事務局	常勤 1 名	医療・介護・福祉専門 職 73人	

(2) 収益事業

該当なし